



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

公共インフラとしての電話リレーサービス開始

7月1日に開始式があり、聴覚障害者、難聴者の利活用が 24 時間 365 日いつでも、緊急時でも、双方向でできるように円滑化が図られました。これにより自分の好きな時、相手の都合のいい時に電話がかけられ、コミュニケーションの機会が広がることとなります。



日本に電話が敷設されて 150 年、やっと聴覚障害者にもコミュニケーションの壁が取り除かれました。キャラクターのオウム「リレーちゃん」も登場。CM に出演されている神嶋 里花 (かしまりか) さんから「もっと若い人に手話を広めましょう」とメッセージがありました。

※この電話リレーサービスの利用にあたっては、事前に登録が必要です。

【電話リレーサービスのホームページに詳細が掲載されています】



きこえる人へ～利用の方法～

通常の電話と同様の着信があります。

応答後、通訳オペレーターから「こちらは電話リレーサービスです。耳のきこえない方などからのお電話を通訳しております。双方のお話を全て通訳いたします。よろしくお祈いします。」という案内が最初にあります。案内後、お話しください。

通訳を挟むため、通常の電話に比べて時間がかかります。また、要件が完了するまでは電話を切らずにお待ちください。



きこえない人へ～登録の方法～

現在、アプリでのみ登録ができます。※郵送による登録は準備中です。登録申請できるのは、①身体障害者手帳(聴覚・言語)をお持ちの方、または、②音声電話の利用が困難で電話リレーサービスを必要とする事を証明する書類(診断書など)をお持ちの方です。

スマートフォンやタブレット端末に電話リレーサービスのアプリをダウンロードして、登録を進めてください。

パソコンをお持ちの方は、電話リレーサービスのホームページを見ながら登録することをお勧めします。

<よくある質問(抜粋)>

[電話リレーサービス ホームページ <https://nftrs.or.jp/>]

Q. 申請から利用できるまでどのくらい時間がかかりますか?

A. アプリで申請の場合、承認から発送まで **10 日ほど**お時間をいただいております。

遠隔手話通訳システム体験学習会 6月19日

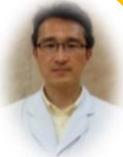


県手話通訳士協会主催で集まった登録手話通訳士・者の 13 名が J-TALK 遠隔手話通訳システムによる実地の通訳体験をしました。場面設定としてコロナ感染症疑いにより病院を受診するろう者と医師役の 2 名の役員と、別室で 11 人全員が交代で通訳用 iPadPro を使用し、実際と同じ遠隔手話通訳を体験しました。対面通訳とは違う画面上での通訳時の具体的な多くの課題や、病院等でのろう者への質問内容も確認できました。

【課題例】①医師と患者間で使用された資料・データが通訳者の画面上に映し出されず、通訳者とろう者の間にすれ違いが生じる。②通訳者、ろう者ともに画面からはみ出してしまう場面があった。



山口相談医のひと言コメント



耳垢・耳掃除について その2

耳垢が生じる外耳道。これは入り口側を軟骨部外耳道と呼び、表皮と皮下組織があり皮脂腺、耳垢腺、むく毛を伴います。(皮脂腺、耳垢腺は入り口に近い1~2cmのところにあるとされています。)奥の方は骨部外耳道と言われ、皮下組織はほとんどなく、側頭骨に直接表皮が乗っているイメージです。その奥の突き当たりが鼓膜ということになります。

耳垢の元になるのは、外耳道の表皮が古くなったものです。普通の皮膚と同じく、古くなった表皮・角質は剥がれ落ちてきます。それと、外耳の入り口の皮脂腺、耳垢腺の分泌物が混じって耳垢になります。

ここで注目されるのが、表皮の動きです。外耳道では、突き当たりの鼓膜の中心部から、耳の外に向かって移動していくことが知られています。

話が脇道に入りますが、中耳の病気の時に、鼓膜を切ってその切り口にチューブを留置するという手技があります。長時間経つと、このチューブが留置したところから鼓膜の周辺部に、そして外耳道へと移動するのが観察されます。耳垢の元になる古くなった表皮もこのチューブのように耳の奥から外の方へと移動させられるのです。

人体ってよくできているなあ、とってしまいます。

要予約

巡回聞こえの相談



- ・8月18日(水) 佐賀市 諸富支所
- ・9月22日(水) 佐賀市 久保田公民館

» 「2020」写真コンテスト結果発表 7月25日(日) 15時

* NET119 緊急通報システム



佐賀広域消防局のNET119緊急通報の事前登録は、**身体障害者手帳のない聴覚障害者も対象拡大**となりました。

利用には**事前登録**が必要です。 編集後記:引き分けが増えてきたサガン鳥栖、まだまだ2位は狙える!! kiyoo

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商ビル4階)
 TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
 メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
 ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

初の「聴覚障害者くらしのニーズ」調査 シリーズ<2> 災害時の避難情報入手

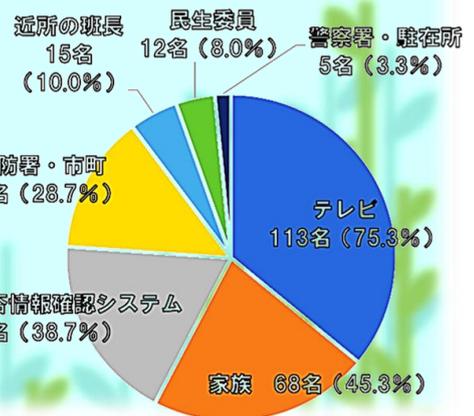
~聞こえないことに起因する意思疎通・コミュニケーションがとれないことからの課題へ対応が求められる。

今年の梅雨入りは例年より早く5月25日。いよいよ梅雨末期の大雨の時期となりました。

今回の「聴覚障害者くらしのニーズ調査」では、災害時の情報入手の実態を調査しました。10年前の東日本大震災時の死亡率が、聴覚障害者は県民全体の2倍となっています。

災害時の避難情報の入手先はテレビ 113名(75.3%)、家族 68名(45.3%)、スマホ安否確認システム 58名(38.7%)、消防・市町 43名(28.7%) 続いて近所の班長 15名(10.0%)、民生委員 12名(8.0%)と回答されています。*複数回答。スマホ安否確認システムは、当サポートセンターが独自開発したもので事前登録制です。

身近な市町の防災放送や消防車・パトカーによる避難呼びかけも聴覚障害者には聞こえません。また、避難所内での放送も聞こえません。特に独居や夫婦のみの聴覚障害者にはボード等による文字情報支援等、声かけをお願いします。



全聴情協総会・施設大会 6月24日

コロナ禍のためオンラインで開催されました。厚労省自立支援振興室今井補佐、全日本ろうあ連盟中西情報・コミュニケーション委員長から、情報提供施設の今後の役割等について講演がありました。総会では2021年度事業計画、予算、役員改選等について審議され、原案のとおり承認されました。

今年度 ICT・相談専門部会の設置に向けて課題の整理検討や、情報メディア、意思疎通支援専門委員の役割、見直しを行い、来年度から新体制でスタートする計画等が承認されました。

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日